

令和4年度堺市と関西大学との地域連携事業

堺鉄炮鍛冶屋敷ミュージアムシンポジウム

「よみがえる鉄炮鍛冶屋敷—鍛冶技術の変遷を辿る—」を開催します

堺市では、関西大学との地域連携事業として堺鉄炮鍛冶屋敷ミュージアムシンポジウム「よみがえる鉄炮鍛冶屋敷—鍛冶技術の変遷を辿る—」を開催します。

堺市堺区北旅籠町の「井上関右衛門家住宅」（堺市指定有形文化財）は、全国で唯一のこる江戸時代前期の鉄砲鍛冶の住居兼作業場で、令和5年度に「（仮称）堺鉄炮鍛冶屋敷ミュージアム」としてオープンする予定です。

火縄銃（鉄炮）は天文12年（1543）に種子島にもたらされ、堺は戦国時代から江戸時代にかけて全国有数の火縄銃の生産地として名を馳せました。それが可能であったのは、鉄砲伝来以前に、堺で刀鍛冶などの高い技術力が培われてきたためです。明治以降、兵器生産の官営化・近代化のため、民間の鉄砲鍛冶による鍛造での銃身製造技術は途絶えますが、刀剣や包丁の製造技術は現代に伝えられています。

今回のシンポジウムでは、2万点を超える井上関右衛門家資料の研究調査に携わった歴史学の専門家や、金属工学、情報処理の専門家による講演と、パネルディスカッションを通じて、鉄砲鍛冶の技術力に迫ります。

シンポジウム開催後には動画を公開するとともに、関連企画として、パネル展示やクラウドファンディングも実施します。ミュージアムオープンに向け、堺鉄炮鍛冶屋敷や鍛冶の技術等について知っていただく機会として、ぜひご参加ください。

※火へんの「鉄炮」は江戸時代の古文書で「火縄銃」を指す表記として使われています。このため、近代以降の「鉄砲」と区別するため、イベント名称等について「鉄炮」を使用しています。

1 日時

令和4年10月23日（日）午後1時～午後4時30分

2 場所

関西大学千里山キャンパス 関大ソシオ AV 大ホール（吹田市山手町3丁目3-35）

阪急千里線「関大前駅」下車、北改札口・北東出口より、西門を入れて東へ約220m、

南改札口・南東出口より、南門を入れて北東へ約400m（エスカレーター完備）

3 講師・パネリスト

第一部

- ・講演①「堺の刃物鍛冶と鉄砲鍛冶」：藪田 貴 氏（関西大学名誉教授・兵庫県立歴史博物館館長）

第二部：よみがえる火縄銃

- ・講演②「現代科学からみた鉄砲用鉄の魅力」：丸山 徹 氏（関西大学化学生命工学部教授）
- ・講演③「CG で描く火縄銃」：林 武文 氏（関西大学総合情報学部教授）
- ・パネルディスカッション「鍛冶技術の中の火縄銃」

パネリスト：藪田 貴 氏、丸山 徹 氏、林 武文 氏、井上 俊二 氏（井上家当主弟）

4 募集人数

200 名（応募多数の場合は抽選） ※後日オンデマンド配信あり

5 申し込み方法

8 月 22 日（月）午前 10 時から 9 月 30 日（金）午後 5 時まで、堺市電子申請システム（下記リンク）かファックス（072-228-7228）でお申し込みください。代表者氏名（ふりがな）・同行者氏名（1 名まで）・住所・電話番号・メールアドレスなど必要事項をご記入ください。（1 口で 2 名まで申込可能）

※堺市電子申請システムでのお申し込みはこちら

<https://lgpos.task-asp.net/cu/271403/ea/residents/procedures/apply/80f4ba4b-e9dc-4005-9f05-c652e1550d98/start>

※ファックスでお申し込みの際は、連絡がつくファックス番号、電話番号、メールアドレス等を必ず記載してください。

6 オンデマンド配信

シンポジウム開催後、動画サイト上での講演映像を公開します。

公開予定期間：令和 4 年 11 月 1 日（火）午前 9 時～令和 5 年 1 月 9 日（月・祝）

※動画サイトへのリンクは、公開後、堺市ホームページでお知らせします。

7 関連企画「堺鉄砲鍛冶屋敷井上関右衛門家パネル展」

①会場：イオンモール堺鉄砲町（堺市堺区鉄砲町 1 番地）

日時：9 月 21 日（水）～26 日（月） 午前 10 時～午後 9 時

②会場：イオンモール堺北花田（堺市北区東浅香山町 4 丁 1-12）

日時：10 月 11 日（火）～16 日（日） 午前 10 時～午後 9 時

③会場：さかい利晶の杜 無料ゾーン（堺市堺区宿院町西 2 丁 1-1）

日時：11 月 5 日（土）～9 日（水） 午前 9 時～午後 6 時

*①9 月 23 日（金）～25 日（日）、②10 月 15 日（土）・16 日（日）、③11 月 5 日（土）・6 日（日）の午前 10 時～午後 4 時 30 分は堺観光ボランティア協会による解説付き

8 主催

堺市・関西大学

9 クラウドファンディング

「(仮称) 堺鉄炮鍛冶屋敷ミュージアム」オープンに向けて、クラウドファンディングを実施します。

受付予定期間：令和4年9月20日(火)～12月18日(日)

目標金額：1,500,000円

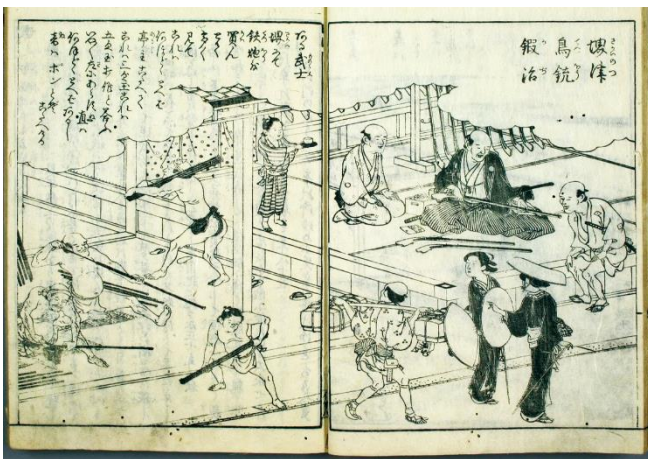
※クラウドファンディング(ふるさとチョイス)の詳細はこちら(受付期間外はアクセスできません)

<https://www.furusato-tax.jp/gcf/1826>

10 その他

消毒・検温、会場の換気等、新型コロナウイルス感染症の感染対策を徹底して実施します。新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、内容などを変更する可能性があります。開催等に関する最新情報は、堺市ホームページをご確認ください。(令和4年8月19日(金)午後5時公開予定)

<https://www.city.sakai.lg.jp/kanko/rekishu/bunkazai/bunkazai/oshirase/teppousymposium2022.html>



(写真左)『和泉名所図会』より「堺津鳥銃鍛冶(さかいのつつほうかぢ)」(堺市博物館所蔵)

(写真右)鍛冶が火をおこす際に用いる「箱ふいご」(井上家所蔵)

問
い
合
わ
せ
先

担 当 課：文化観光局 文化部 文化財課
電 話：072-228-7198
ファックス：072-228-7228

令和4年10月23日(日)

午後1時~午後4時30分
関西大学千里山キャンパス
関大ソシオAV大ホール
(吹田市山手町3丁目3-35)

定員 200名

オンデマンド配信あり

令和5年度ミュージアムオープンにむけて

クラウドファンディングを

実施!

令和4年

9月20日(火)~12月18日(日)

講師・パネリスト

第一部

講演①
「堺の刃物鍛冶と鉄砲鍛冶」
藪田 貫氏
(関西大学名誉教授・兵庫県立歴史博物館館長)

第二部

よみがえる火縄銃

講演②
「現代科学からみた
鉄砲用鉄の魅力」
丸山 徹氏
(関西大学化学学生命工学部教授)

講演③
「CGで描く火縄銃」
林 武文氏
(関西大学総合情報学部教授)

パネルディスカッション
「鍛冶技術の中の火縄銃」

パネリスト 藪田 貫氏、丸山 徹氏、
林 武文氏、
井上 俊二氏 (井上家当主弟)



詳細はこちら

鍛冶技術の
変遷を辿る

よみがえる

鉄砲鍛冶屋敷

堺鉄砲鍛冶屋敷ミュージアムシンポジウム



堺市堺区北旅籠町の「井上関右衛門家住宅」（堺市指定有形文化財）は、全国で唯一のこる江戸時代前期の鉄砲鍛冶の住居兼作業場で、令和5年度の「(仮称)堺鉄砲鍛冶屋敷ミュージアム」のオープンに向けて、建物の保存修理工事や展示の制作が進められています。

火縄銃は天文12年（1543）に種子島にもたらされ、堺は全国でも有数の火縄銃の生産地として名を馳せました。それが可能であったのは、鉄砲伝来以前に、堺で鍛冶の高い技術力が培われてきたためです。明治以降、兵器生産の官営化・近代化のため、民間の鉄砲鍛冶による製造技術は途絶えますが、刀剣や包丁の技術は現代に伝承されています。激動する時代の潮流の中で、井上関右衛門家は、明治末年頃まで「最後の鉄砲鍛冶」として堺で火縄銃の生産を続けたのでした。

今回のシンポジウムでは、歴史学、金属工学、情報処理の各分野の専門家による講演と、専門家と井上家当主弟によるパネルディスカッションを通じて、鉄砲鍛冶の技術力の原点に迫ります。

講師・パネリスト

第一部

講演①「堺の刃物鍛冶と鉄砲鍛冶」

藪田 貫氏(関西大学名誉教授・兵庫県立歴史博物館館長)



藪田 貫氏

第二部 よみがえる火縄銃

講演②「現代科学からみた鉄砲用鉄の魅力」

丸山 徹氏(関西大学化学生命工学部教授)



丸山 徹氏

講演③「CGで描く火縄銃」

林 武文氏(関西大学総合情報学部教授)



林 武文氏

パネルディスカッション

「鍛冶技術の中の火縄銃」

▶パネリスト

藪田 貫氏 丸山 徹氏

林 武文氏 井上 俊二氏(井上家当主弟)



井上 俊二氏

定員

200名(応募者多数の場合は抽選)

受付方法

8月22日(月)午前10時から9月30日(金)午後5時まで、堺市電子申請システム(右下2次元コード)とFAX(072-228-7228)で申込。

代表者氏名(ふりがな)・同行者氏名(1名まで)・住所・電話番号・メールアドレスなど必要事項を記入。(1口で2名まで申込可能)

※FAXでお申し込みの方は、連絡がつくFAX番号、電話番号、メールアドレス等を必ず記載してください。



堺市電子申請システムからの申込はこちら

オンデマンド配信

オンデマンド配信は、シンポジウム終了後に、インターネット上でシンポジウムの動画をご視聴いただけるものです。事前申込みなしでもご視聴いただけますが、堺市電子申請システム等で事前にお申し込みいただいた方には、公開直後にメールでご連絡いたします。公開期間は令和4年11月1日(火)午前9時～令和5年1月9日(月)の予定です。

クラウドファンディング

(仮称)堺鉄砲鍛冶屋敷ミュージアムオープンに向けてクラウドファンディングを実施

期間:9月20日(火)～12月18日(日)まで



詳細はこちら

※実施期間外はアクセスできません。

シンポジウム会場

関西大学千里山キャンパス 関大ソシオAV大ホール

(吹田市山手町3丁目3-35)

阪急千里線「関大前駅」下車、北改札口・北東出口より徒歩約5分
南改札口・南東出口より徒歩約5分(エスカレーター完備)

関連企画

堺鉄砲鍛冶屋敷井上関右衛門家パネル展

①会場:イオンモール堺鉄砲町(堺市堺区鉄砲町1番地)

日時:9月21日(水)～26日(月) 午前10時から午後9時まで

23日(金)～25日(日)は堺観光ボランティア協会による(解説付き)

(午前10時から午後4時30分まで)

②会場:イオンモール堺北花田(堺市北区東浅香山町4丁1-12)

日時:10月11日(火)から16日(日)まで 午前10時から午後9時まで

15日(土)・16日(日) (解説付き) (時間は同上)

③会場:さかい利晶の杜(堺市堺区宿院町西2丁1-1)無料ゾーン

日時:11月5日(土)から9日(水)まで 午前9時から午後6時まで

5日(土)・6日(日) (解説付き) (時間は同上)

※新型コロナウイルス感染症の状況により、展示期間等が変更になる場合があります。堺市ホームページで最新情報をご確認ください。



問い合わせ先

堺市文化財課

堺市堺区南瓦町3-1 TEL:072-228-7198 FAX:072-228-7228

消毒・検温、会場の換気等、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を徹底して実施します。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、内容などを変更する可能性があります。